



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社

コード番号 2702 URL <https://www.mcd-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) (氏名) 日色保

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 IR統括責任者 (氏名) 中澤啓二 TEL 03-6911-6000

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	236,551	10.8	28,547	12.6	27,866	10.2	17,937	11.4
2020年12月期第3四半期	213,467	1.8	25,357	17.8	25,276	19.0	16,103	21.0

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 17,923百万円 (11.4%) 2020年12月期第3四半期 16,095百万円 (19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	134.91	—
2020年12月期第3四半期	121.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	240,078	188,218	78.4
2020年12月期	232,984	175,081	75.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 188,218百万円 2020年12月期 175,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2021年12月期	—	0.00	—		
2021年12月期（予想）				36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	312,000	8.2	34,000	8.7	33,000	5.0	21,000	4.0	157.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	132,960,000株	2020年12月期	132,960,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	1,020株	2020年12月期	1,019株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	132,958,981株	2020年12月期3Q	132,959,048株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、日本マクドナルドが今年創業50周年を迎えるにあたり、年間を通じて「Big Smile」をテーマに活動しております。お客様との絆をより深めることで、持続的成長と収益向上につなげ、企業価値をさらに高めることを目指します。2021年の取り組みといたしましては、「ピープル」「メニュー・バリュー」「店舗展開」「デジタル・デリバリー・ドライブスルー」の4つの分野に注力しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、これまで同様お客様の声を伺い、QSCの向上を通じてお客様の店舗体験の向上に努めました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、引き続き政府、行政の要請に従い店舗の衛生管理を徹底するとともに、店舗の営業時間の短縮やソーシャルディスタンスを確保した店舗運営などの対応を行いました。既存店売上高は2015年第4四半期から2021年第3四半期まで24四半期連続でプラスとなりました。

「ピープル」：お客様に最高の店舗体験をしていただくために優秀な人材の採用と育成に積極的な投資を継続しております。デジタル端末を使ったトレーニング教材である「デジタルCDP」は現在日本語以外に5ヶ国語に対応しており、クルーの理解度の向上、トレーニング時間の短縮に繋がっております。また、ハンバーガー大学ではオンラインによる授業を継続し、当第3四半期連結累計期間において12,000名以上が受講いたしました。

「メニュー・バリュー」：お客様のご期待に応えるために、それぞれの時間帯に合わせたメニューラインアップを強化し、バリュー・フォー・マネーにおいてお客様にお得感を感じていただける様々な取り組みを実施いたしました。4月には3年ぶりの肉厚ビーフの新レギュラーバーガーとして「サムライマック」と銘打った「炙り醤油風ダブル肉厚ビーフ」と「炙り醤油風 ベーコントマト肉厚ビーフ」を発売いたしました。期間限定商品としては、夏の定番バーガー「チーズロコモコ」と「ガーリックシュリンプ」に加え、新商品として「ハワイアンバーベキューザク切りポテト&ビーフ」を販売したほか、9月には、秋の定番として毎年ご提供している「月見バーガー」に新商品を加えた全8種のラインアップにて販売いたしました。さらに「夜マック®」の期間限定商品として販売した「ごはんバーガー」シリーズにつきましても、新商品である「ごはんチキン にんにく黒胡椒」と「ごはん海老旨辛仕立て」をはじめ、多くのお客様にご好評をいただいております。また、100円、150円、200円の価格帯で手軽に様々な商品をお選びいただける「ちょいマック」の新レギュラー商品として「スパビー（スパイシービーフバーガー）」を追加、平日のランチタイムに400円からお楽しみいただける「バリューランチ」を継続するなど、お客様にお得感、納得感のある商品をお届けしております。

「店舗展開」：当第3四半期連結累計期間は、新規出店35店舗、閉店27店舗となり、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は2,932店舗となりました。経営資源を効果的に活用するために、新規出店と改装、リビルドや未来型店舗への投資配分を柔軟に見直しながら、お客様の満足度と業績を向上させるための投資を継続してまいります。

区分	前連結会計 年度末	新規出店	閉店	区分移行		当第3四半期 連結会計期間末
				増加	減少	
直営店舗数	858店	12	△12	7	△4	861店
フランチャイズ店舗数	2,066店	23	△15	4	△7	2,071店
合計店舗数	2,924店	35	△27	11	△11	2,932店

「デジタル」「デリバリー」「ドライブスルー」：デジタルについては、テクノロジーとピープルの融合により、より良いサービスをご提供していく「未来型店舗体験」の一つとして、「モバイルオーダー」を導入しており、公式アプリとの統合やWeb版のリリースを行った結果、着実にご利用が増えております。お客様のニーズにお応えし続けるために、8月に「d払い」を導入するなど決済方法の拡充をはじめとした機能強化を行い、利便性を高め、さらに利用者数を伸ばすことを目指してまいります。

デリバリーは今後も大きく成長が期待される、ポテンシャルの高いマーケットです。マクドナルドのクルーがお届けするマックデリバリーサービス（MDS）と、Uber Eats、出前館等との提携により、デリバリーサービスを展開しております。2021年9月末時点で、デリバリー実施店舗数はそれぞれMDS845店舗、Uber Eats1,635店舗、出前館1,554店舗等を合わせて、合計で全国1,897店舗となっております。今後もデリバリーサービス提供店舗とエリアを拡大し、お客様の利便性の向上を目指してまいります。

ドライブスルーについては、キャパシティを増強するほか、「モバイルオーダー」でご注文いただいた商品を、車に乗ったまま店舗の駐車場で受け取れるサービス「パーク&ゴー」をより多くの店舗に拡大しており、2021年9月末時点で全国の1,021店舗で展開しております。

マクドナルドは、グローバルの規模を活かして、より良い未来のために皆様とともに社会的課題や環境問題の解決に貢献する活動として、日本では「持続可能な食材の調達」「パッケージ&リサイクル」「ファミリーへのコミットメント」などに注力して取り組んでおります。環境に配慮した取り組みとして、2025年末までにおもちゃに使用するプラスチックを徐々に削減しサステナブルな素材へ移行していくことを発表いたしました。また、使わなくなったハッピーセットのおもちゃを店舗で回収し、そのおもちゃを原材料の一部に使用したトレイに再生する「おもちゃリサイクル」プロジェクトを継続しております。これまでは子供たちの長期休みに合わせた回収期間を設定しておりましたが、持続可能な社会の実現により一層貢献するため、期間を定めない通年の実施といたしました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、地域の医療従事者の方々の貢献に感謝し、応援する活動も実施しております。

今後も、新型コロナウイルスの影響と政府、行政の方針を注視し、お客様、従業員をはじめ全ての方々の安全と健康を最優先し、常にお客様に寄り添って、変化する社会やお客様のニーズに柔軟に対応し、進化を続けてまいります。おいしいメニュー、お得感、納得感のあるバリュー並びに便利で快適な店舗環境を日々ご提供するとともに、持続可能な社会の実現に向けて取り組みながら、「おいしさと笑顔を地域の皆さまに」ご提供してまいります。

上述の施策の結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高は10.7%の増加となりました。システムワイドセールスは4,865億72百万円（対前年同期比506億33百万円増加）、売上高は2,365億51百万円（対前年同期比230億84百万円増加）、営業利益は285億47百万円（対前年同期比31億90百万円増加）、経常利益は278億66百万円（対前年同期比25億90百万円増加）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は179億37百万円（対前年同期比18億33百万円増加）となりました。

- (注) 1. 既存店売上高とは、少なくとも13ヶ月以上開店している店舗の合計売上高です。
2. システムワイドセールスとは、直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高であり、四半期連結損益計算書に記載されている売上高と一致しません。
3. 当社グループの事業はハンバーガーレストラン事業単一であるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は906億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億90百万円の減少となりました。これは、現金及び預金が4億44百万円減少したことが主な要因です。

固定資産は1,494億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億85百万円の増加となりました。これは、有形固定資産が73億45百万円増加したことが主な要因です。

流動負債は445億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億30百万円の減少となりました。これは、未払金が49億76百万円減少、買掛金が7億27百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は72億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億12百万円の減少となりました。これは、長期借入金金が5億円減少したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期の業績予想につきましては、2021年8月12日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,741	62,296
売掛金	21,668	21,307
原材料及び貯蔵品	1,141	1,107
その他	5,562	5,910
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	91,104	90,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,180	58,887
機械及び装置（純額）	8,424	9,857
工具、器具及び備品（純額）	7,259	7,469
土地	19,386	21,001
リース資産（純額）	683	602
建設仮勘定	1,637	1,098
有形固定資産合計	91,571	98,916
無形固定資産		
のれん	467	556
ソフトウェア	8,078	8,388
その他	694	694
無形固定資産合計	9,240	9,639
投資その他の資産		
投資有価証券	56	56
長期貸付金	9	9
繰延税金資産	4,501	4,508
敷金及び保証金	33,748	33,734
その他	3,991	3,805
貸倒引当金	△1,237	△1,204
投資その他の資産合計	41,068	40,909
固定資産合計	141,880	149,465
資産合計	232,984	240,078

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	793	65
リース債務	256	245
未払金	28,819	23,842
未払費用	6,972	7,053
未払法人税等	5,177	4,919
未払消費税等	2,523	2,204
賞与引当金	2,229	1,588
たな卸資産処分損失引当金	120	35
その他	3,110	4,615
流動負債合計	50,001	44,571
固定負債		
長期借入金	500	-
リース債務	551	465
賞与引当金	430	474
役員賞与引当金	203	218
役員退職慰労引当金	247	260
退職給付に係る負債	1,365	1,386
資産除去債務	3,956	3,985
繰延税金負債	3	3
再評価に係る繰延税金負債	291	289
その他	350	204
固定負債合計	7,901	7,289
負債合計	57,902	51,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,113	24,113
資本剰余金	42,124	42,124
利益剰余金	113,016	126,171
自己株式	△2	△2
株主資本合計	179,251	192,406
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△4,242	△4,246
退職給付に係る調整累計額	72	58
その他の包括利益累計額合計	△4,169	△4,188
純資産合計	175,081	188,218
負債純資産合計	232,984	240,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	213,467	236,551
売上原価	169,036	186,379
売上総利益	44,430	50,171
販売費及び一般管理費	19,073	21,623
営業利益	25,357	28,547
営業外収益		
受取利息	93	82
貸倒引当金戻入額	37	33
受取補償金	340	185
受取保険金	214	134
その他	255	257
営業外収益合計	940	692
営業外費用		
支払利息	11	8
店舗用固定資産除却損	850	1,306
その他	159	59
営業外費用合計	1,021	1,374
経常利益	25,276	27,866
特別利益		
固定資産売却益	-	247
特別利益合計	-	247
特別損失		
固定資産除却損	316	366
減損損失	54	-
特別損失合計	370	366
税金等調整前四半期純利益	24,905	27,747
法人税等	8,802	9,810
四半期純利益	16,103	17,937
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,103	17,937

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	16,103	17,937
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△7	△14
その他の包括利益合計	△7	△14
四半期包括利益	16,095	17,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,095	17,923

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した内容から、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

当社グループの事業は、ハンバーガーレストラン事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。